

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。2023年の幕開けとなりました。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、コロナ対応が一段落しながらも（もちろんまだ油断はできませんが）新しい働き方の模索と従来のスタイルへの揺り戻しとの間で対応に苦慮された企業も多かったのではないかと思います。その中でも、リモートワークや兼業・副業などは着実に浸透しつつありますし、それを支えるDXが人事労務分野で一層の拡大を見せた一年でした。

また、背景にある労働力人口の急速な減少、働き方改革の真の狙いである労働生産性の向上といった構造的な要因は全く変わっておらず、むしろ深刻さを増しているといえます。

本年は、働き方の変革による影響と日本社会の構造的な課題がより顕在化するとともに、企業の人事施策としては、ジョブ型雇用の本格化、多様性やD&I（ダイバーシティ&インクルージョン）、さらには雇用という形態にとらわれない組織のあり方も着実に進んでいくことが予想されます。

こうした変化の激しい状況においても、企業経営にとって最も重要なのは「中長期的な企業価値の向上」と「持続的成長」といえますが、これを企業の人事施策の面で支えていくのが「人的資本経営」というあり方ではないかと考えています。

人的資本経営とは、企業経営の重要な要素である「人」について、価値を生み出す源泉である存在ととらえて、人材戦略を経営戦略の中心に位置づけながら「人を大切に」していく経営です。そしてそのような経営の成果である指標を内外にわかりやすく「情報開示」していくことで、企業のさらなる健全性につなげていくという経営のあり方です。

人的資本経営の実践を提唱する「人材版伊藤レポート2.0」（経済産業省）では、個人と企業の関係性として、これまでの相互依存の関係ではなく、今後は、自立した個人と企業とがお互いに「選び、選ばれる関係」になっていくことがうたわれておりますが、このような組織のあり方の変化も確実に進んでいくものと考えられます。

当法人は、『『人』が輝く会社作りを全力で支援したい！』というミッションと「人と組織と働き方に関するプロフェッショナルとして広く社会の発展に貢献する」という理念を掲げ、人と組織に関する環境変化への対応に取り組む皆さまのお役に立てるよう今年も力を尽くしてまいります。

特に、ジョブ型雇用の進展の中で求められる人事・評価制度の再構築、企業がとるべきハラスメント対応措置、再び進みつつある採用・人材確保難への対応などが大きな課題になってくることから、こうした取り組みに関する情報を積極的にお知らせするとともに、的確なご提案をさせていただきます。

また、昨年当法人代表が人的資本の情報開示に関する国際規格であるISO30414のリードコンサルタントの認証を取得しましたので、各企業が人的資本経営を推進するためのコンサルティング業務やISO30414認証を取得するための支援業務などの新たな領域にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。

一方、急速に進んでいる人事労務におけるDXや電子化の積極的な活用に引き続き取り組み、クラウドシステムやツールを研究して最適なお提示ができるようにいたします。

さらには、人事労務面での法令遵守状況やリスク課題を明確にする労務監査・DD（デューデリジェンス）については、IPO（新規株式公開）やM&Aの場面の活用ニーズが急増していますが、それだけでなく健全な労務管理を目指すあらゆる企業にとって有用な手法であることから、積極的にご提案して各社の人事労務管理の改善の取り組みを支援させていただきたいと思っております。

当法人は昨年11月に社会保険労務士法人としての新たなスタートを切りましたが、上記の各種サービスの基盤となる法人内の組織化と、専門的な知識・スキルと経験を備えたスタッフの育成もあわせて積極的に進めてまいります。

本年もお客様の取り組みを全力で支援していきたいと考えております。

本年が皆さまにとってより一層のご成長とご発展の年となりますことを祈念いたします。

2023年（令和5年）1月吉日

如水コンサルティング

如水社会保険労務士法人

代表社員 早田 晋一

社員 野田 亜以子